
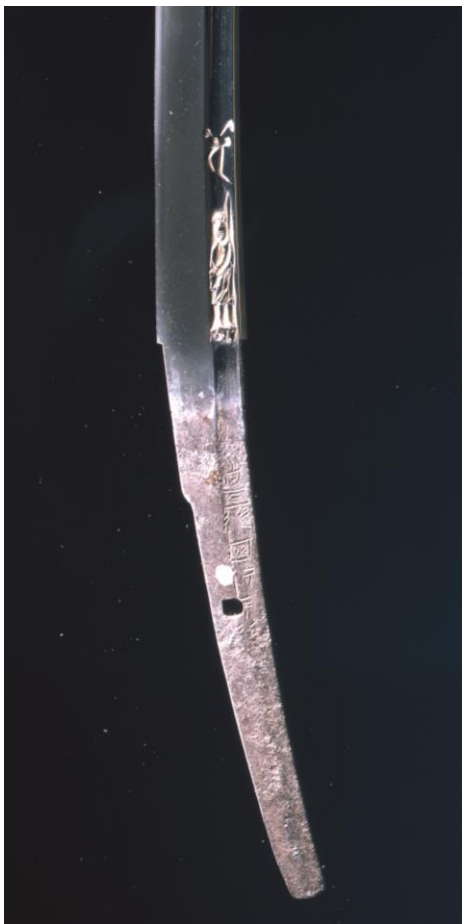


令和4年度早春展

 永青文庫

揃い踏み 細川の名刀たち—永青文庫の国宝登場—

約8年ぶりに国宝の刀、全4口勢揃い！

国宝
「太刀 銘 豊後国行平作
(古今伝授の太刀)」部分

■開催概要

展覧会名:令和4年度早春展 揃い踏み 細川の名刀たち—永青文庫の国宝登場—

会期:2023年1月14日(土)~5月7日(日) ※通期展示

会場:永青文庫

開館時間:10:00~16:30(入館は16:00まで)

休館日:毎週月曜日

入館料:一般1300円、大高生800円

※中学生以下、障害者手帳をご提示の方及びその介助者(1名)は無料

主催:永青文庫

共催:文京区、文京区観光協会

特別協力:肥後細川庭園、ホテル椿山荘東京、リーガロイヤルホテル東京、目白台図書館



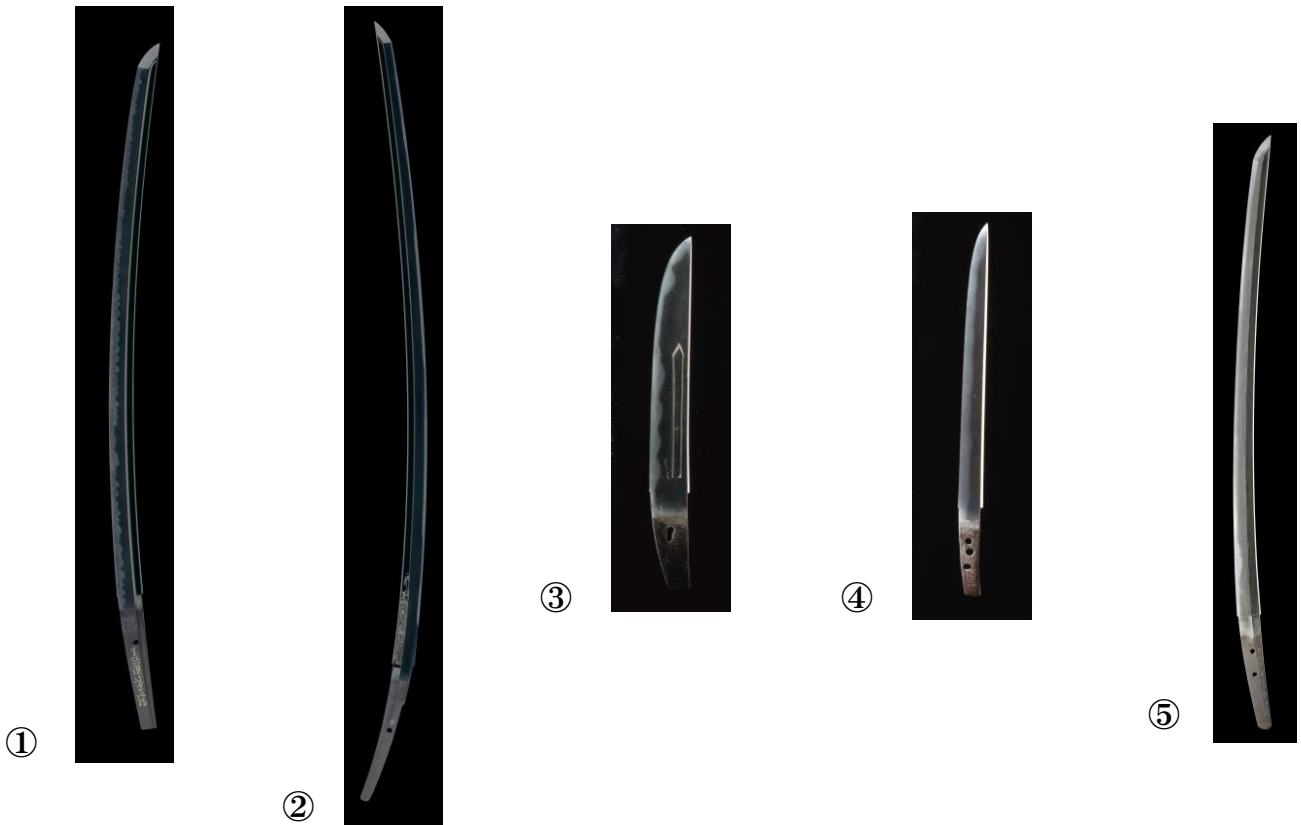
■日時指定予約制 (12月1日(木)10:00より予約開始)

本展は、混雑緩和を目的としたオンラインによる日時指定予約制です。賛助会員など入場無料の方も、すべてのお客様は予約が必要です。予約せずにご来館された方は、時間枠の定員に空きがある場合に限り、ご入館いただけます。

※電話ではご予約いただけません。ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

第1章 揃い踏み 細川護立 心酔の刀剣

永青文庫の設立者・細川護立^{もりたつ}(1883～1970)は、禅僧の書画や近代絵画、東洋美術のみならず、稀代の刀剣コレクターとしても知られます。護立が刀の世界に本格的に足を踏み入れたのは、学習院中等学科在学中、肋膜炎にかかり休学していた10代の頃。細川侯爵家に「御刀掛^{おかたなかり}」として出入りしていた肥後金工師の末裔・西垣四郎作^{にししがしろうさく}や、刀剣愛好家でもあった細川家の家政所職員らとともに開いた研究会で刀剣の目利きを学び、審美眼を磨いていきました。本章では、国宝全4口をはじめ、「刀 銘 濃州関住兼定作(歌仙兼定)」など護立の眼によって集められた名刀を蒐集エピソードとともに展覧します。



母親に小遣いを前借り！10代にして蒐集した護立最初期のコレクション

① 国宝「刀 金象嵌銘 光忠 光徳(花押) 生駒讃岐守所持(生駒光忠)」鎌倉時代(13世紀)

細川幽斎ゆかりの刀をようやく入手 40余年の宿望を叶える

② 国宝「太刀 銘 豊後国行平作(古今伝授の太刀)」平安～鎌倉時代(12～13世紀)

政治家・伊東巳代治旧蔵 “庖丁の美しさに絶大の賛美を惜しまざる” *

③ 国宝「短刀 無銘正宗(名物庖丁正宗)」鎌倉時代(14世紀)

“価格の如何にかかわらず、この短刀は是非とも傍に置きたい” *

④ 国宝「短刀 銘 則重(日本一則重)」鎌倉時代(13世紀)

細川忠興の愛刀が護立の手にわたる縁

⑤ 「刀 銘 濃州関住兼定作(歌仙兼定)」室町時代(16世紀)



刀の手入れをする細川護立

* 護立の蒐集動機などをまとめた『刀剣回顧談』昭和13年(1938)より

第2章 肥後金工の名品 揃い踏み！

江戸時代、細川家が治めた熊本で発展した^{つば}鐺などの刀装金具を肥後金工と呼びます。その主な流派には林派、平田派、西垣派、志水派があり、それぞれ個性的な刀装金具を生み出しました。永青文庫に伝わる肥後金工の多くは細川護立蒐集品で、叔父・長岡護^{もり}美や、刀剣の目利きの指南を受けた西垣四郎作らから譲り受けたもの。本章では、精緻な透彫^{すかしぼり}と象嵌^{ぞうがん}を駆使した林派初代・又七の鐺や、西垣派二代・永久^{ながひさ}による雅趣あふれる鐺など、肥後金工を代表する護立自慢の品を紹介します。



重要美術品 林又七
「桜九曜紋透鐺」江戸時代(17世紀)



重要文化財 伝 林又七
「桜に破扇図鐺」江戸時代(17世紀)



重要美術品 西垣永久
「田毎の月図鐺」江戸時代(18世紀)



伝 平田彦三「八木瓜九曜透唐草文鐺」
江戸時代(17世紀)

第3章 武家の格式 後藤家による刀装金具

後藤家は、室町時代の^{ゆうじょう}祐乗に始まる金工師の家系。足利將軍家や織田信長、豊臣秀吉、徳川將軍家といった為政者の抱工として、幕末まで^{みつころもの}三所物(刀の外装に付ける^{こづか}小柄・^{こうがい}筭・^{めぬき}目貫)を中心に手掛けました。赤銅の黒色の地板に文様を金で立体的に表した後藤家の刀装金具は格調高く、品格を備えています。その作風は「家彫」と呼ばれ、武家において珍重されました。

永青文庫が所蔵する後藤家作品のうち、「猿猴捉月図三所物」の筭は、^{じょうしん}乗真自身による銘が刻まれた唯一の作品として特に貴重なもの。本章では、動物や物語モチーフなど、様々な意匠が楽しい三所物を中心に紹介します。



重要美術品「猿猴捉月図三所物」
目貫・筭:後藤乗真、室町時代(16世紀)／小柄:後藤通乗、宝永7年(1710)



後藤程乗
「頼政鶴退治図三所物」江戸時代(17世紀)

第4章 在野の金工・町彫の逸品

將軍や大名の御用をつとめた後藤家の「家彫」に対し、市井で活躍した在野の金工を「町彫」と呼びます。伝統や格式が重んじられた後藤家には、材質や彫法などに制約がありましたが、町彫は自由な立場から、多種多様な材質、巧みな構図取り、新たな彫法などを取り入れた作品を生み出しました。本章では、^{としなが}迫力ある高肉彫で源義経をあらわした奈良利寿の希少な鐺や、虎を真上からとらえた大胆な構図の土屋安親の揃金具など、町彫の逸品を紹介します。



重要文化財 奈良利寿
「牟礼高松図鐺」江戸時代(18世紀)



土屋安親「雨下猛虎図揃金具」江戸時代(18世紀)



横谷宗環「群馬図小柄」江戸時代(18世紀)

※掲載作品はすべて永青文庫蔵

本展のみどころ&ポイント

◆永青文庫所蔵の国宝刀剣が一堂に

永青文庫のコレクションを代表する国宝の刀剣4口が約8年ぶりに揃い踏み。加えて、重要文化財と重要美術品の刀剣・刀装金具をすべて公開！護立が心酔した刀の世界をたっぷりご堪能いただけます。

◆選りすぐりの刀装金具を一挙公開

永青文庫が所蔵する刀装具には、肥後金工や後藤家、町彫の代表作が多数含まれています。本展に合わせて実施した調査をもとに、選りすぐりの作品を展示。小さな世界にほどこされた繊細な技をお楽しみいただけます。

◆「古今伝授の太刀」「歌仙兼定」を展示

展示を熱望するファンからの声にお応えし、近年ゲームで人気を集める「古今伝授の太刀」と「歌仙兼定」を出品。「古今伝授の太刀」は細川家初代・藤孝(幽齋)、「歌仙兼定」は二代・忠興(三齋)ゆかりの刀剣です。

◆永青文庫の周辺地域・施設と連携！

本展開催に合わせ、文京区が主体となり、永青文庫の周辺施設でPCブラウザ&スマホアプリゲーム「刀剣乱舞ONLINE」とのコラボ事業を展開。2016年に話題を呼んだ「歌仙兼定登場」展以来の地域連携企画！文京区目白台・関口の魅力発見につなげます。

関連イベント

◇スペシャルトーク「細川の名刀たち」&永青文庫観覧

[日時]2023年2月18日(土) <2部制>①11:30~15:00 ②13:00~16:30

[登壇者]末兼俊彦氏(京都国立博物館 主任研究員)×橋本麻里(永青文庫副館長)

[トーク会場]ホテル椿山荘東京 ホテル棟1Fボールルーム(東京都文京区関口2-10-8)

[定員]100名(抽選制)

[参加費]8,000円(税込、事前決済)

[申込期間]11月1日(火)~11月20日(日)永青文庫ホームページにて受付

[内容]ホテル椿山荘東京での講演会(永青文庫の所蔵する「細川の名刀たち」を語りつくすスペシャルトーク)

および刀剣乱舞ONLINEコラボスイーツのご提供、永青文庫での「揃い踏み 細川の名刀たち」展観覧

※詳細は永青文庫ホームページをご確認ください。

永青文庫の周辺では・・・

◇文京区×刀剣乱舞ONLINEコラボレーション「細川の名刀と巡る文のみち ~目白台・関口の雅~」

・永青文庫周辺のスポットをめぐるスタンプラリー(前期:1/14(土)~3/5(日)、後期:4/22(土)~5/7(日))

・肥後細川庭園、ホテル椿山荘東京、東京シティアイ(KITTE)でのパネル展示

(3/6(月)~4/21(金)を除く会期中。東京シティアイは1/14(土)~2/10(金)の期間限定展示。)

・肥後細川庭園でコラボ限定オリジナルグッズを販売

・ホテル椿山荘東京 コラボスイーツ(抽選制)、特別宿泊プラン

※詳細は特設サイトをご確認ください。

※コラボ内容は変更になる可能性がございます。



【お問い合わせ】

公益財団法人 永青文庫

〒112-0015 東京都文京区目白台1-1-1 TEL: 03-3941-0850 FAX: 03-3943-0454

郵送からメール配信への切り替えをご希望の方は、どうぞお知らせください。

令和4年度早春展「揃い踏み 細川の名刀たち—永青文庫の国宝登場—」
広報画像申請書

2023年1月14日(土)~5月7日(日)

貴社名:

媒体名:

ご担当者名:

ご所属:

TEL:

FAX:

ご住所: 〒

E-mail:

掲載予定日: 年 月 日

掲載概要:(コーナー名、画像の掲載サイズ など)

 読者プレゼント用チケット(5組10名様)ご希望の場合はチェックを付けてください。

※2023年4月7日までにご紹介頂ける場合に限らせて頂きます。※チケットはゲラの確認後に送付いたします。



◆ご希望の写真番号に○を付けてください。

- ① 国宝「刀 金象嵌銘 光忠 光徳(花押) 生駒讃岐守所持(生駒光忠)」鎌倉時代(13世紀) 永青文庫蔵
 ② 国宝「太刀 銘 豊後国行平作(古今伝授の太刀)」平安~鎌倉時代(12~13世紀) 永青文庫蔵
 ③ 国宝「短刀 無銘正宗(名物庖丁正宗)」鎌倉時代(14世紀) 永青文庫蔵
 ④ 国宝「短刀 銘 則重(日本一則重)」鎌倉時代(13世紀) 永青文庫蔵
 ⑤ 「刀 銘 濃州関住兼定作(歌仙兼定)」室町時代(16世紀) 永青文庫蔵
 ⑥ 刀の手入れをする細川護立
 ⑦ 重要美術品 林又七「桜九曜紋透鐔」江戸時代(17世紀) 永青文庫蔵
 ⑧ 重要美術品 西垣永久「田毎の月図鐔」江戸時代(18世紀) 永青文庫蔵
 ⑨ 重要文化財 奈良利寿「牟礼高松図鐔」江戸時代(18世紀) 永青文庫蔵
 ⑩ 重要美術品「猿猴捉月図三所物」
 目貫・筭:後藤乗真、室町時代(16世紀) / 小柄:後藤通乗、宝永7年(1710) 永青文庫蔵
 ⑪ 土屋安親「雨下猛虎図揃金具」江戸時代(18世紀) 永青文庫蔵

【広報画像ご使用に際してのお願い】

※画像の使用は、本展覧会のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。貸与した画像は、使用後速やかに消去願います。

※展覧会名、会期、会場、作品名称、所蔵者を必ずご掲載ください。

※掲載誌は1部ご惠贈願います。

【個人情報の取扱いについて】

※ご記入いただきました個人情報は、当館からの展覧会情報のご案内にのみに使用いたします。

許可なく第三者に個人情報を開示することはありません。